



## Do CL Column

### 魅力的な人たち

#### —相談室バナーデイズ—

小木 晴代

h-ogis8doCL@tbz.t-com.ne.jp

Aさんは10年前、福島原発の被害から逃れるために集団避難してきました。私はいてもたってもいられず、何らかの役に立ちたいと思い、ボランティアを志願してお会いしました。被災していない私たちには想像もできない諸問題を抱え、押しつぶされそうになりながらも賢明に生き延びた方です。今はメールや電話だけのお付き合いになってしまいました。10年目を迎えた日、「いろいろな人のおかげで今があることに感謝です。」と言ってきました。私が「私のささやかなこの頃の楽しみはカワセミを見に行くことですよ」と書いたら、「私はベランダから大家さんの畑の水仙や電線に集まる雀、空や雲を眺めています。五感を大事にしていますよ～」と返信がありました。「つらいときには空を見てね」と私が言ったことを実践しているようです。

奈良に住む叔父は93歳で一人暮らしです。毎日、買い物に行き、料理本を片手に調理をして、大量の本を読み、執筆し、庭の手入れもするスーパー爺さんです。叔母が6年前に亡くなってから、料理を始めました。「小林カツ代さんの本がいいんですよ」と言っています。スーパーは徒歩五分くらいのところにあるので、便利だけど近すぎて散歩にならないとも。先日、電話をしたときは、鯛の酒蒸しをしているとのことでした。私に、「あなたと話す楽しい」と言ってくれます。

Bさんは毎日、一万歩以上歩く人です。知らない花木に出会うのが楽しみだと言います。お会いすると、知りえた情報をシェアしてくれます。写真を見せて、その植物の名前や特徴などを教えてくれます。私にとっての知識の師匠です。孫育てを卒業してこれからをどう生きていこうと思っていたところ、Bさんからいっぱい刺激を受け、読みたい本や調べたいことのヒントをもらっています。

次男の嫁ちゃんは、「ゴミ集積所で餌を狙っているカラスに、『ごみをつついて散らかさないでね』と優しく、優しく目を見ながらお願いしたら、その場を去ってくれたので、私の言葉が届いたみたいです。」と話してくれました。(千葉県千葉市インストラクター)

[目次へ戻る](#)